

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「3D-T1 black blood MRI による頸動脈プラーク描出脳の評価：THRIVE 法と VISTA 法との比較検討」へご協力をお願い

— 2010 年 6 月 1 日～2011 年 2 月 29 日までに当科において頸部頸動脈狭窄で 3T 頭部 MRI を受けられた方へ —

研究機関名：三重大学医学部附属病院

研究責任者（所属氏名）：三重大学医学部附属病院 先進画像診断学講座 前田 正幸

研究分担者（所属氏名）：三重大学附属病院 診療放射線部 井上 勝博

三重大学附属病院 診療放射線部 山畑 経博

三重大学附属病院 診療放射線部 高瀬 伸一

1. 研究の概要

1) **研究の意義** : 頸動脈プラークの描出に 3D T1 強調 black-blood MRI が用いられています。我々は、この方法のために THRIVE 法を用いて頸動脈プラークの評価を行ってきましたが血液抑制がうまくいかない症例が多々ありました。最近、良好な血液信号抑制が可能な VISTA 法が開発され、臨床にも利用されるようになってきました。この方法を応用することで、従来の THRIVE 法の問題点を解決できる可能性が期待できます。

2) **研究の目的** : THRIVE 法と VISTA 法でのプラーク描出能の違いを臨床例で比較検討することです。

2. 研究の方法

1) **研究対象者** : 頸部頸動脈狭窄の方で頭頸部プラーク MRI を撮像された方

2) **研究期間** : 2015 年 3 月 13 日～2017 年 1 月 16 日

3) **研究方法** : プラーク信号強度の評価はプラークと胸鎖乳突筋との信号比を求め、比較する。

定量評価として、血管内腔と頸動脈プラークとのコントラスト比を評価する。視覚的評価として、血管内腔とプラークとの境界描出能を評価者 2 名の合議制で評価し判定する。

4) **使用する試料の項目** : MRI 画像

5) **使用する情報の項目** : 年齢、性別、症状などの臨床データ

6) **情報の保存** : 中央放射線部

7) **情報の保護** : 暗号による匿名化

8) **研究計画書および個人情報の開示** : あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報にならない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下

さい。また、あなたの試料・情報が 研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に 不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

所属 氏名：三重大学医学部附属病院 先進画像診断学講座 前田正幸

電話：(平日：9時30分～17時00分) 059-232-1111 (内線5630)、ファックス：059-232-8066